

SEMMOTO NEWSLETTER

2022.04.08. No. 6

CONTENTS

- ◆ 2021年度奨学生継続認定証授与式
- ◆ 2022年度の事業計画について
- ◆ 2022年度3月奨学生レポート



2021年度奨学生継続認定証授与式にて



公益財団法人

千本財団

Frances and Sachio Semmoto
Foundation

■2021年度奨学生継続認定証授与式

2022年3月29日（火）に2021年度の奨学生継続認定証授与式を都内会場にて開催しました。継続認定証授与式には、全16名の奨学生の他、千本倅生代表理事、小林理事、事務局スタッフ2名が参加し、4月から新たに大学1年生になる第4期生を皆で祝福しました。継続認定証授与式の後には感染対策を施した状態で懇親会を開催し、出席者それぞれが翌年度の抱負を発表しました。奨学生全員が集まる貴重な機会となり、奨学生同士で親睦を深めることができました。また、第4期生については下記の通り進学先が決定致しました。



第4期生の集合写真

【第4期生進学先一覧】

LAI QING LONG（マレーシア）写真左端
東洋大学 国際学部 国際地域学科

LEE ZEE YEEN（マレーシア）写真左から2番目
長崎大学 多文化社会学部 多文化社会学科

NATHANAEL IAN GUNADI（インドネシア）写真右から2番目
青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科

ANDREW LIM KAR JUN（マレーシア）写真右端
山形大学 工学部 情報・エレクトロニクス学科



千本代表理事から奨学生に認定証の授与



第1期生の集合写真



第2期生の集合写真



第3期生の集合写真



懇親会の様子 (1)



懇親会の様子 (2)

■2022年度の事業計画について

2022年度は下記の計画の通り事業を実施します。

1. 継続奨学生（第1期生～第4期生）への奨学金給付事業

理事会の審議を経て継続が認定された奨学生に対し、下記の通り奨学金を給付する。

- (1) 給付期間：1年間（2022年4月～2023年3月）
- (2) ①給付額（第1期生～第3期生）：12万円（月額）
②給付額（第4期生）：8万円（月額）
- (3) 給付予定人数：16名
（第1期生：3名、第2期生：4名、第3期生：5名、第4期生：4名）
- (4) 給付総額：2112万円

2. 新型コロナウイルス対策 特別給付奨学金事業

奨学金制度規程第4条第4項に基づき、本年度は下記の通り新規奨学生を募集、選考し奨学金を給付する。

- (1) 給付対象：下記、対象大学の四年制学部（課程）の2年生および3年生
- (2) 対象大学：北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学 東京工業大学、一橋大学、筑波大学、神戸大学、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、国際基督教大学
- (3) 採用定員：7名
- (4) 給付内容：①期間：1年間（2022年10月～2023年9月）
②給付額：8万円（月額）*11月に10月分を含め2カ月分給付
- (5) 応募締切：2022年8月1日（月）締切*消印有効
- (6) 選考期間：①書類選考：2022年9月2日（金）結果通知
②面接選考：2022年10月2日（日、10月17日（月）最終結果通知
- (7) 備考：新型コロナウイルス感染拡大の影響で入国時期が予定より半年以上遅延した学生を優先とする。

3. 奨学生の交流会および研修会の実施

奨学生同士と財団の交流を促進することを目的に、下記の交流会を実施する。

- (1) 交流会：
 - ①オンライン交流会
 - ・実施時期：2022年4月～12月、毎月1回開催予定
 - ・参加対象：継続奨学生16名、事務局職員 *参加は任意とする
 - ②リーダーシップ交流会：
 - ・実施時期：2022年8月
 - ・参加対象：継続奨学生16名
 - ・講師：小林英夫理事
 - ③新規奨学生認定授与式
 - ・実施時期および場所：2022年11月、株式会社RENOVA Board Room
 - ・参加対象：新規奨学生7名、財団役員、事務局職員
 - ④第1期生卒業祝賀会
 - ・実施時期および場所：2023年3月、学士会館
 - ・参加対象：全奨学生23名、財団役員、事務局職員

■2022年度3月奨学生レポート（第1期生～第3期生）

①卒業後の進路希望と目標に向かって現在努力していること、②2021年度の振り返りと2022年度の抱負（勉強面）、③2021年度の振り返りと2022年度の抱負（生活面）

SABRINA MEGUMI AHMAD（インドネシア）

神奈川大学 理学部 数理・物理学科 4年

①卒業後は大学院に進学して最終的には母国に帰ることを考えています。この数年間身につけた知識、留学生ならではの経験、日本にいたからこそ経験できた出来事などを活かして日本と母国を繋げたいと思っています。2月に先輩の卒論や修士論文の発表会にはじめて参加し、どれも興味深いテーマだったので、自分なら何についてどう研究して発表しようかなと考え始めました。研究するにあたって今は必要な知識やソフトウェアの活用方法などを春休み中に身に付けています。

②2021年度はオンライン授業が実施されて2年目で一部は対面授業に戻りました。これでいつも通りに戻ったかと思いきや、学習時間の配分、課題の量や期末試験の実施方法の違いなど慣れないことがまた新しく増える1年間でした。他には、偶然友人と同じ研究室に配属されたことが心強く思えたり、母国語を学ぶ授業に参加するなど、3年の後期になっても新しいことを体験できました。春休みに先輩の卒論や修士論文の発表会に参加したことで、自分もいよいよだなと実感し始めました。2022年度はよい卒論が書けるよう身を引き締めて臨みたいと思っています。

③2021年度は2020年度と同様、母国に帰省できないことがとても残念に思いました。次の休みこそはと思いつながら1年以上が経ち4年生になりました。2021年度は一部対面授業になりましたが、3年生は元々履修する授業自体が少なく家で過ごすことが多かったです。当初は「家にいるならいるなりに有意義に過ごそう」と目標を立てましたが、だんだん早起きするのも面倒くさくなりなかなか難しいなと思いました。2022年度は4年生に進級するので、だらしない生活をやめることを心がけています。そして、今年の夏こそ帰省したいと思います。

TAN ZU SHENG（マレーシア）

山梨大学 工学部 コンピュータ理工学科 4年

①卒業後は日本での就職を希望しています。それに向かって必要な準備をしています。自己分析は大体終わっていますが、エントリーシートの内容を自分で何度も読み返したり、周りの友人に意見を聞いたりすることで、内容の説得力、妥当性と信憑性を確認しました。このようにエントリーシートの完成度を上げながら、IT業界の企業のホームページを見て、自分のやりたいこととマッチしている企業を探しています。検討中の企業はいくつかありますが、そのなかでエントリーしたい企業は今のところ2社あります。

②3年生になって、ソフトウェアの開発に携わる機会が多くなりました。ゲームやウェブアプリケーションという過年度では経験したことのない規模の開発に取り組み、チーム開発の実践経験を積むことができました。それらに全力を尽くし、自分の努力で生み出したソフトウェアを見て達成感を感じ、とても充実した1年間だと思いました。来年度からは研究室に配属され、研究に専念することになるとは思いますが、後悔のない1年間を過ごしていきたいと思っています。

③今年度は暇なときは小説を読んだり、時々大学の友人と外食をしたりしました。充実した大学生活ではないのではと思われるかもしれませんが、私はこれで満足していました。春休みに帰国しようと思いましたが、研究室の配属や就活とかがあってできませんでした。来年度も研究と就活があって、時間を作ることが難しいかもしれません。しかし、就職したら時間を作るのがもっと難しくなるため、卒業する前に帰国したり日本語学校時代の親友と会ったりするための時間が作れるように、頑張ってお内定をもらい、早めに研究に取り掛かりたいと思っています。

VU KIM QUANG (ベトナム)**東京理科大学 工学部 機械工学科 4年**

①将来は設計だけではなく、自分が設計したものを自分で売りたいので、勉強ももちろんですが、勉強以外のことも頑張っています。勉強面では実際の設計に使う知識を得るために、機械設計学と機械製図という2つの科目に力を入れ、機械を設計する上で何が必要か少し分かるようになりました。また、自分の会社や機械を売るためには様々な問題が発生します。体育会の仕事に積極的に参加することで問題発見と問題解決能力を身につけました。そして、自分が設計した機械を売るためにはお客さんとの相談や話し方が非常に大事なので、アルバイトで多くの人と話すことで力を磨いています。また、どんなことでも意見をまとめる役に付き、進めるようにしています。そうすることで、自分のリーダーシップを鍛えられると考えているからです。

②勉強面において2021年は大変な1年間でした。1年生と2年生と比べて授業の数だけではなく、課題やレポートの量も多くなり、内容が非常に難しくなりました。特に、設計の授業では自分で決めなければならないところが多く、難しかったです。どのように設計すればいいか過去の資料やTAに聞いても結局自分で決めなければならなかったため、授業の最初と最後はかなり時間がかかりました。2022年に入り、研究室も研究テーマも決まりました。自分の研究テーマはアプリ開発にかかわるので、これからはjavaと画像処理を勉強し、8月あたりにアプリづくりの基本な構造と機能を決め、作っていきます。

③最近では体育会での仕事はありますが、本部と打ち合わせして今年もイベントや活動がなさそうなので、前からやっていた仕事を引き続きやっていきたいと考えています。卓球部を退部したので、今は卓球を全くやっていません。しかし、最近はバドミントンに興味があって、長い間やってきた友達がいるので、その友達に週2回教えてもらって、6月あたりに大会に出てみたいと考えています。そして、就活も引き続き頑張っていきたいと考えています。現在は自分の入りたい企業にエントリーし、書類を提出しました。3月30日に1社の最終面接があるので、今の所はその最終面接に向けて頑張っていきたいと考えています。

CHEAH JIA YI (マレーシア)**東京農業大学 生命科学部 分子生命化学科 3年**

①私は大学を卒業した後に大学院に進学し、さらに自分の興味がある分野の勉強を深めたいと思います。大学院進学のための試験の準備として1年生と2年生で勉強した内容を休み期間中に復習しています。その他、危険物取扱者の甲種の資格を卒業前に取れるように教科書と過去問を使って勉強しています。また、将来日本で就職するために、日本語能力試験JLPTの過去問と文法の復習をしています。それはレポートや4年生に卒業論文を書くときにも役に立つと思います。

②2021年は授業がその前年とは違い、主に対面で行われました。一気に変わったので最初は慣れていないところがたくさんありました。内容も1年生とは違って深く専門的な内容が増えたので苦労しました。実験科目は1つの学期に2つ入ってしまして器具の扱い方と実験室で注意すべきものを覚えることができました。2022年は3年生になって専門の選択科目も選べますので頑張って勉強してGPAを維持したいと思っています。また1年で取れなかったので新学期に新しい外国語も学びたいと思っています。

③2021年の対面授業で様々な人と出会えることができ、学科内での知り合いが増えました。実験を通じて先輩と知り合うことができ、研究室などについて色々聞くこともできたのでとても嬉しかったです。また、コロナが収まった時期コッペパンのサークルに入会することができましたがまた感染者が増加し活動に参加することができなかったので2022年にパンを焼くことができるといいと思います。また、サークルや全学共通の科目に通じて他の学部の学生たちと知り合いになりたいと思っています。

MELLISA ARDELIA (インドネシア)
東京理科大学 理学部第一部 化学科 3年

①卒業後には修士課程に進み、教えながら研究経験を積みたいです。最終的には教授になることを目標にしています。少しでも学問としての化学の発展に貢献したいです。今は4年次に入る研究室の希望をおおむね決めましたので、研究室の見学について担当の教授に伺っているところです。どこの大学の修士課程に出願するかについても考え始め、様々な大学の行っている研究について調べています。日本の大学だけではなく、海外の大学も考えていますので、英語を忘れないように英語で本を読んだり、番組を見たりしています。

②2021年度では2020年度より化学について多く学んだと思いますが、残念ながら成績が大幅に落ちてしまいました。原因としては授業内容の難易度の上昇に加え、自分がモチベーションを維持できないことが挙げられます。目標を持って勉強を頑張っているはずなのに、疲れてしまう時もあります。今度は自分で決めた目標を忘れず頑張ります。2022年度は研究室に配属される前の最後の年なので、きちんと授業で頑張って、成績を上げたいです。一学期は長いといつも感じていますが、最後まで負けずに頑張ります。

③部活で競技ダンスをやっていますが、それによりストレスがたまりました。競技ダンスは社交ダンスを競技化したもので、競技である以上もちろん厳しい環境です。自分は踊っている時技術にこだわりすぎてダンスの楽しさを全く感じていません。卒業までダンスをずっと続けたいのですが、これではいけないと思いました。これからはダンスの楽しさも感じながら頑張ります。また、大学や部活の忙しさで最近あまり自炊しないようになりましたので、今年度は自炊も頑張ります。

LIM AN QI (マレーシア)
京都精華大学 マンガ学部 アニメーション学科 3年

①卒業後はアニメーターとして日本にあるアニメーション会社に就職したいので一回生から様々なスキルを学んできました。去年、パンケーキアニメーション会社のインターンシップに参加したことで、まだまだ知らないことがたくさんあると気づき、大変勉強になりました。現在、この経験をいかしてよりスキルアップしようと思って今年履修する科目を決めたいと考えています。ポートフォリオを制作しながら、インターンシップにも参加しつつ、今年も頑張ります。

②去年時間の感覚がバグった感じがしてとても早いペースで始まって、知らないうちに終わった気がします。ほぼ全ての専門選択科目を履修していたため、課題の量は半端なく多かったです。全部期限内に提出できましたが、中には内容が物足りないと感じたものがありました。もう少し時間があればもっと良いものできたかなと考えてしまいます。でも出した課題は全て精一杯作った作品なので、一応満足はしています。今年は履修する科目を少し減らしてより精緻で若干尺が長い作品を作りたいと思っています。

③時間の感覚がバグってました。課題を終わらせたい気持ちが強くて眠れなかった日もあり、結局そのまま徹夜しました。そして絵を描くのがメインなのでひたすら椅子に座ってスクリーンを見る作業を長時間やることになります。これで身体能力が低下している気がして、ジョギングとかヨガを始めようと考えています。最近のことなのですが、アルバイトもやめました。制作の時間が足りなくて、制作に集中したいためです。

NGUYEN BAO HUNG (ベトナム)
同志社大学 商学部 商学科 3年

①大学卒業後、まずは数年間日本の企業で働きます。そして、帰国して得た知識や経験を生かし、ベトナムでマーケティング会社を設立したいと考えています。また、日本では知識や経験だけでなく、日本の文化や日本人の考え方も身に付けます。自分の会社を通じて両国の交流を促進し、日本とベトナムの架け橋となり、両国の発展に貢献できる人材を目指しています。そのため、大学ではマーケティングをはじめ、専門科目の勉強だけではなく、日本人との人間関係構築にも積極的に取り組んでいます。

②勉強面では2021年度は2020年度との大きな違いはありませんでした。コロナの感染拡大で、多くの科目はオンラインで実施され、対面授業は週2、3回しかありませんでした。また、授業の内容はより専門的で難しくなったため、勉強は少し大変でした。しかし、時間を厳しく管理することにより、すべての課題とレポートを丁寧に作成し、期限を守って提出することができました。さらに、ゼミに受かって卒業論文作成の準備も始めました。三年次になると、受講できる授業は自分の選んだ主専攻と副専攻に限られるため、専攻を慎重に調べ、履修計画を立てたいと思います。内容も非常に難しくなると思いますが、いい成績がとれるようにより頑張ります。また、日本で就職する予定であるため、インターンシップにも積極的に参加し、就職活動の準備も早い段階から始めます。

③生活面から見ると、2021年度は私にとって幸せな一年でした。よさこいサークルに入って日本のお祭りで踊るといふ夢が叶いました。感染拡大で多くのイベントが開催中止を余儀なくされている中、規模縮小・無観客でしたが、仲間たちと一緒にお祭りに出て踊れたことは、とても嬉しかったです。今は新演舞の作成も託されているので、最高の演舞を見せられるよう頑張っています。コンビニのバイト先では、オーナーと店長に努力が認められて本部に推薦され、本部の研修を受けてシフトリーダーになることができました。唯一の外国人従業員である私が店で外国人として初めてのシフトリーダーになることができたことは本当に光栄です。今は新人従業員教育と売場づくりを担当しています。これからも、仕事をより頑張りと、店の発展に貢献したいです。2022年度には、新しいことをたくさん体験したいと思います。コロナに負けず、勉強もサークルもバイトも一生懸命頑張ります。

CHIN TECK CHING (マレーシア)
茨城大学 工学部 物質科学工学科 2年

①私は将来、再生可能エネルギーの開発に関する仕事をしたいと思っています。特に太陽エネルギーに関する研究に興味があります。目標を達成するため、一年生のときは「エネルギーと社会」や「社会に役立つ化学：機能性物質を創る・見る・測る」、「材料科学入門」などの授業を積極的に履修しました。授業はとても難しく、大変でしたが、本当に面白かったです。今は大学の研究室の見学に参加して、自分の視野を広げています。これからはたくさんのインターンシップに参加して、経験を積みたいと思います。

②コロナウィルスの影響で、授業はほぼオンラインの形になりました。そのため、集中力が下がってしまう場合がたくさんあったので、注意しなければいけないと思いました。また、提出物が非常に多くあり、提出期限を過ぎてから提出したこともあったので、スケジュールを立てて、提出物と期限日をきちんと管理したいと思います。授業中によく「これは高校で学んだことなので飛ばします」がありました。しかし、スキップした部分は私にとって学んだことがなかったため、これから上手く授業を進めるために、まず高校理科の内容を完全に理解するべきだと思います。

③授業はほぼオンラインで悲しかったのですが、サークルに参加できてよかったです。バドミントンサークルに参加したことで同じ学科の友達ができ、追いコンパーティや夏合宿に参加できました。しかし、今年はコロナウィルスの影響で、文化祭などのイベントがなくて、残念でした。健康のため、食事の栄養バランスを注意して、筋トレを始めました。健康的な側面のみならず集中力も上がると思いますので、これからも続けていきたいです。2年生はキャンパスが変わるので、新しいキャンパスで大学生活を充実させたいと思います。

HA THI TRA MY (ベトナム)**東洋大学 経済学部 国際経済学科 2年**

①私は大学を卒業した後、日本とベトナムに関係がある貿易会社に就職し、日本人の考え方や働き方などを勉強したいと思っています。現在はバイト先のリーダーになるため、仕事に役立つスキルや経験を積むことに取り組んでいます。トレーニングでコミュニケーション力や問題解決能力などを身につけたり、ビジネス日本語を学んだりしています。お客様の立場に立って、良い店を作るように他のスタッフと協力し努力しています。卒業後、正社員として会社で働く時もそれらの経験が必要だと思うので、責任を持って仕事をしています。また、アルバイトがない時は、会話中心の英語や日本語を勉強したり、読書やニュースで知識を増やすことも頑張っています。今後は統計分析に欠かせないプログラミングの学習もしようと思っています。

②2021年度はあっという間に経ったと思いました。大学生活に不安を持っていた私がもう2年生になりました。今振り返ると、1年生の時はほぼオンライン授業で、分からないこともたくさんあって少し大変でした。しかし、だんだん慣れてきて、専門科目で基礎知識を固めるだけでなく、様々な興味深い分野に触れることもできました。2022年度は去年より選べる専門科目が多くなるので、自分の進路を真剣に考えて履修しようと思います。また、決まったゼミに入り、興味のある研究や発表などを通じて、専門知識とともに役立つスキルを身につけたいです。1年次よりも勉強内容が難しくなりますが、諦めずに頑張りたいと思っています。

③コロナ禍により、大学のサークルはあまり活動していなかったため、サークルにはまだ入っていません。しかし、多くの交流会に参加し、友達ができて楽しい一年でした。また、毎週アルバイトをしていて、同僚と話すことで経験やスキルを積むことができました。現在、バイト先のリーダーに向けてトレーニングを受けていますので、これからも頑張っていきたいと思っています。2022年度は新しいことに挑戦したり、興味のあるサークルに入るなど、学生生活を充実させたいです。その他、コロナ禍がまだ終わっていないので、健康管理に気をつけて楽しく過ごしたいと思っています。

LEON ADITYO HARTANTO (インドネシア)**明治大学 理工学部 応用化学科 2年**

①大学を卒業した後、大学院に進学し、エネルギーの研究業界に就職したいと思っています。特に、電池の開発や再生可能なエネルギーの研究に興味がありますので、その研究の仕事が出来ればとても良いです。そのために、明治大学だけではなく、様々な大学の授業を受け、専門的な知識を身につけることを努力しています。今年の夏に化学が人気であるアメリカのカリフォルニア大学バークレー校に交換留学し、3か月ほど授業を受けるつもりです。日本に戻った後、行きたい研究室に入るために、得られた知識を生かしたいと思っています。

②大学に入ったばかりの時は大学生の勉強の仕方に慣れていなかったため、凄く大変でした。さらに、授業は日本語で受けていたので難易度が倍になると感じました。現在は時間を管理しながら勉強を進めるということが重要だと思っているので、できるだけ課題やレポートなどを早めに完成させたり、わからないことがあれば先輩や同期に聞いたりしています。これから授業の内容が難しくなるので、もっと適切な時間管理をしたいと思っています。

③結論から言うとより健康的な生活を送りたいと思っています。現在はジム、自宅でトレーニングなどをしていますが、まだまだ足りないと思います。今年は多くの大学の同期が20歳になり始めるので、お酒を飲む場面も多くなります。そのため、体の健康を維持しなければ、体調を崩したり、肝臓が悪くなったりすると思います。それに加え、サークルの活動をより頑張りたいと思っています。最近、サークルの活動が多くて、本当に楽しかったので、より多くの時間をかけたいと思っています。もちろん、サークルの優先順位は勉強・将来の後です。

MAHESA PAMUNGKAS SUGIHARTO (インドネシア)**明治大学 経営学部 経営学科 2年**

①卒業後の進路希望と目標は昔と比べて少し変わったと思います。大学院に進学する可能性も浮かびました。前は日本のサブカルチャーをインドネシアに広げるという目標はありました。それは多分、何年たっても変わらないと思いますが、やり方やいつやるかはまだ未定です。したがって、現在とは全く様々な知識や情報を得て、参考になる物を自分の物として使いこなせるようにしています。常にアンテナを立てて、情報収集して、良い情報でも、良くない情報でも全部ありのまま受け入れ、変化に恐れず、成長しています。

②2021年度は基礎科目を中心に勉強を進めたと思います。特に専門的な学問までは辿らず、基礎の方だけを磨きました。一年生なので、それが一番ですが、2021年度はレポートもかなり大変でした。訳のわからない5000字もあるレポートを書かされたあげく、それほど評価されなかったこともありましたが、いい勉強になりました。今は全体的に2022年度に向けた準備を整えています。来年度は専門的な科目を積極的に勉強しようと思います。そして、フィールドワークの授業にも積極的に参加し、さらに実践的なことをやりたいと考えています。

③2021年度は自分の身体を変えた年になったと思います。自分の身体が嫌で筋トレし始めて、ダイエットして、その途中で知識を得て筋肉量を増やして、体重が増えて強くなって、色々身体に実験を行いました。12月末にも怪我して、手の小指に4針も縫ってもらった事がハイライトでした。全体的に感情のジェットコースターですね。2022年度はいつもと変わらず、筋トレを頑張っ、自分の身体に実験を行いたいと思います。今年度も趣味に没頭していながら、勉強を頑張っていこうと思います。あとできれば、今までは自分のスケジュールを中心に生活をしていたのですが、今年度は礼拝を中心に生活をしていこうと思います。

ALFRED NGU YOK FEI (マレーシア)**法政大学 生命科学部 応用植物科学科 2年**

①私は学部卒業後に植物の伝染病の拡散防止の研究職に就きたいです。その職に就くために、植物病における様々な病原の特定方法や特性に関する知識が必要です。なぜなら、植物病原の種類を特定しなければ有効な対策が出せないからです。ですので、教授から教えてもらった特定手法に関する知識の他に、様々な病原の外部特徴を調べて覚えています。また、植物病原のサンプルを観察するには、種類によって扱い方や実験手順が違います。実験後にその手順を復習し、使った材料の特性や観察ポイントなどを覚え、研究職に就職したらすぐ応用できる病原観察の知識をしっかり身につけるように意識しています。

②2021年度を振り返ると、一番大きい収穫は専門に関する応用知識の他に、レポートの書き方や文献の調べ方に慣れたことです。これは将来の卒業論文のための練習だけではなく、就職してからの報告書の作成において必要なステップになります。しかし、レポート提出で評価をもらう科目である実験・実習科目の評価を見ると、レポートの作成に関しては、まだ改善できる余地がたくさんあるので、これからはレポートの質をさらに向上させたいです。去年はレポートの作成だけで精一杯だったのですが、時間の管理をさらに意識して、日ごろの勉強に励むことにより、専門知識の習得並びに完成したレポートの質を向上できると思います。その時間管理が足りなかった証拠としては、専門知識が足りないことによって農業部門の技術士試験に落ちたことです。それを反省点にして今年も頑張ります。

③2021年はコロナピークの時期であっても、少なくとも週2回以上大学に通っていました。後半の秋学期の場合、たまに週4回通学する週もありました。その理由是对面で実験をする授業が多かったためです。レポートなどの課題は日本語学校にいた時期とは比べられない忙しさで、家族の負担を減らすためのアルバイトを始める余裕がなかなかもてませんでした。今年の2月中旬から日本での初アルバイトを始めました。アルバイト先の店長と相談し、週9時間ぐらい働かせてもらえる結果になりました。ですので、生活費だけではなく、学費の半分ぐらいを自力で負担し、両親の負担をさらに減らすことができます。また、今は春休みで通学する必要はないので、余裕をもって自炊できます。料理のスキルを磨く際一番重視しているのは調理時間の短縮化です。今年は忙しくても、自炊の頻度を増やし、健康面と経済面に配慮できる生活をしたいです。

■2022年度3月奨学生レポート（第4期生）

①将来の夢・大学で勉強したいこと、②趣味、③大学進学にあたっての抱負

LAI QING LONG（マレーシア）

東洋大学 国際学部 国際地域学科 1年

①私は将来、アジア各国の住環境を改善して、地方都市がより便利で住みやすくなるように力を尽くしたいです。自然と調和した地域の開発や地域経済の活性化などの課題に取り組みたいです。そのため、私は大学に入学したらまず、農村地域開発論や環境マネジメントなどについて積極的に学びたいです。2年次になったら、まちづくり論や都市計画などの科目を履習し、まちづくりに必要な知識を身につけるつもりです。そして、海外研修などの活動に参加し、地域の開発に必要な実践力を身につけたいと思います。

②歌を聞いたりアニメを観たりすることです。

③大学に入ってからまずは勉強面に力を入れていきたいと思っています。アジア各国の住環境を改善するという夢を実現するため、大学に入ってから環境にやさしく、地域の特性を生かした町づくりについて研究したいです。そして、これからは国際化がさらに進むので、国際言語である英語も確実にマスターしたいです。そして、日本語学校で体験できなかったサークルや学校行事にも参加してたくさんの人と仲良くなり、コミュニケーションを多くしていきたいと思っています。社会の役に立てる人材になるためにこの四年間を充実で過ごし、目の前の一つ一つの出来事を全力で頑張っていきたいです。

NATHANAEL IAN GUNADI（インドネシア）

青山学院大学 理工学部 情報テクノロジー学科 1年

①私は客と会話できるAIを開発したいです。その理由は、今はオンラインショッピングのようなネットサービスが普及してきましたが、不便なところはまだまだあると思うからです。例えば、私が初めて革靴を買おうとしたとき、革靴の種類について全く知らなかったため、オンラインで買おうとして間違えて思っていたものと違う種類のものを買ってしまう可能性が高かったです。そのため、私は実際に店に行って店員さんと相談して革靴を買いました。結果として革靴を綺麗にする方法まで教えてもらえましたが、私が開発したいAIは店員の代わりにこういった客の悩みに応えることができるAIです。Facebookもこのような技術に興味があると最近言っています。AIの対話技術はこれからどう発展していくのか本当に楽しみにしています。そして私はその発展にぜひ貢献したいと思っています。

②体を動かすのが基本的に好きですが、一番好きなのは卓球です。卓球のどこが好きかというと、全部です。特にスマッシュしてボールを強く打つ時には全身を同時に回転させる必要がありますが、ボールに完璧に当たったら気持ち良すぎてたまりません。その他コーヒーを飲むのも好きです。時々友達とゲームもやります。

③大学に入学して専門的なことを勉強するのを楽しみにしています。成績はすべてではありませんが、全科目で7割以上は取りたいです。プログラミングの授業でしたら9割以上を目指します。また、信用できる友達を作りたいと思います。折角日本に来たので、友達を作らないともったいないと思います。そして私はやはり大学でもスポーツをやりたいです。ですから卓球部に入りたいと思います。生活面では、コンビニの弁当を食べる回数を減らしたいです。今までシェアハウスに住んでいましたから、キッチン共有でした。これからようやく一人暮らししますから料理をするのも楽しみにしています。

ANDREW LIM KAR JUN (マレーシア)**山形大学 工学部 情報・エレクトロニクス学科 1年**

①私は将来、ITに関する仕事をしたいと思っています。大学卒業後は、IT関係の企業に就職して、日本で経験を積みたいです。将来はマレーシアと日本に限らず、アジア各国で活躍できるプログラマーになりたいです。そのために、私は大学に入ったらず、基礎科目である数学や英語などを勉強したいです。その後、ゼミに入り、さらに高度な専門知識と実社会で役立つ問題解決能力を養いたいです。将来、立派なプログラマーになるために、大学でプログラミングの知識を身につけたいと思います。

②私の趣味はアニメを見ることとバスケットボールをすることです。一番好きなのはシュタインズ・ゲートというアニメです。バスケットボールはコロナが原因で、今はあまりしません。

③大学に入ったら、勉強面の抱負として、GPAを3.0以上維持したいです。そのために、単位を落とさないことはもちろん、良い点数も取りたいです。それと大学3年次は就職活動があって、4年次は卒業論文があるので、できるだけ1、2年生の時に十分な単位を取っておきたいです。生活面の抱負として、私はサークルに参加して、友達を作って大学生活を楽しんでいきたいです。アルバイトは勉強に影響を与えないようにします。親が仕送りする必要がなく、経済的に独立するのも私の生活面の目標です。

LEE ZEE YEEN (マレーシア)**長崎大学 多文化社会学部 多文化社会学科 1年**

①私はマレーシアの民族問題を解決したいです。将来の夢はマレーシアの各民族それぞれの文化と言語などを守った上で、民族の融和を実現することです。そのような融和は教育面だけで解決できることではなく、都市と住宅計画、経済分配などにも力を入れるべきだと思います。今の立てた大学の学習計画はまず一年目と二年目に民族学、歴史、思想、政治経済の入門を勉強するつもりです。三年目に学部のフィールドワークとして海外への短期留学に参加することで、価値観、世界観などの違いが乗り越えて共生することの核心を理解し、民族融和のため具体的な計画をもっと良くしたいです。

②私の趣味は料理をすることです。いつも料理をすることでストレスが解消できて、心が癒されます。ほぼ毎日自炊をします。お金が節約できる同時に、心が落ち着けるようになります。

③【勉強面】遅刻、早退と欠席をできるだけしないことです。二年次に国際公共政策コースを選んで、政策作成の能力を持てるように勉強して、頑張りたいと思います。マレーシアの民族それぞれの背景と文化を深く勉強し、社会調査も積極的に行いたいです。

【生活面】今まで毎日12時を過ぎないと絶対寝ない悪習があるので、大学に入学後直したいと思います。また、日本人のハウスメイトたちと仲良くなり、コミュニケーションを多くして、楽しい寮生活を過ごしたいです。長崎の生活にもっと適応するため、長崎弁を少し勉強することも必要だと思います。学習以外、サークルでの活動や年間行事などもすべて楽しんでいきたいです。